

## 学 術 研 究 発 表 集 録

(2008. 1. 1~2008. 12. 31)

## 人 文 ・ 社 会 科 学

## 口 頭

クローン牛由来生産物に関する情報提供とその消費に対する評価との関係	合 崎 英 男 澤 田 和 学 佐 藤 夫	日本農業経済学会大会 2008. 3
青果物卸売市場における食品廃棄物の発生メカニズム	杉 村 泰 彦	日本農業経済学会大会 2008. 3
障害者乗馬についての保護者の意識調査	山 田 弘 司 中 上 拓 也 栗 田 知 恵	ヒトと動物の関係学会第14 回学術大会 2008. 3
中谷宇吉郎のニセコ山頂着氷実験と産業考古学	山 田 大 隆	産業考古学会第32回年総会 2008. 5
アフリカ開発会議(TICAD)と日本のNGO運動 —失われた十年を回顧する—	森 川 純	日本アフリカ学会第45回学 術大会 2008. 5
岡崎文吉と札幌明治期運河体系	山 田 大 隆	日本科学史学会第54回年総 会 2008. 5
公認審判員の増員計画に関する一考察	金 田 隆 一	日本バドミントン協会競技・ 審判委員会研修会 2008. 5
日本のアフリカ外交の史的展開から見たアフリカ開発 会議	森 川 純	総合人間学会第3回研究大会 2008. 6
北海道の産業遺産保存と北海道遺産構想	山 田 大 隆	日本産業技術史学会第24回 年総会 2008. 6
食の安全・安心(信頼)に対する消費者意識の改革を —ミートホープ, 白い恋人の偽装表示, 冷凍餃子の中 毒等の事例から—	鈴 木 忠 敏	日本消費経済学会・全国大会 2008. 6
認定委員の資質向上について	金 田 隆 一	日本バドミントン協会 公認審判員資格審査認定委員 研修会 2008. 6
EEGとNIRS反応によるメンタルタスク時の香りの 覚醒・リラクセス効果分析	山 田 弘 司	第26回日本生理心理学会大 会 2008. 7
単位農協による米のブランド管理 —北海道・新函館農協を事例として—	相 原 晴 伴	日本農業市場学会大会 2008. 7
経済産業省近代化産業遺産33の内容	山 田 大 隆	北海道産業考古学会第30回 年総会 2008. 7
北海道における情報教育の共通基盤形成に向けた調査 2008 実技テスト編	森 小 夏 節 曾 杉 直 美 棚 我 聰 et al 二 起 朗	PCカンファレンス2008 2008. 8

新スコアリングシステム導入における審判運営の問題点とその対策について	金 田 隆 一	北海道バドミントン協会審判委員会研修会 2008, 8
地域労働市場論と 80 年代日本経済の転換	山 崎 亮 一	経済理論学会北海道部会第 12 回研究報告会 2008, 9
近赤外分光法によるストループ課題・逆ストループ課題時の香りの認知機能への作用分析	福 田 将 史 大 道 雄 喜 山 田 村 弘 上 田 浩 司 et al	日本味と匂学会第 42 回大会 2008, 9
デスクワーク作業時の呼吸代謝に及ぼすワイン香・青葉香の影響	上 村 浩 信 金 木 則 明 島 田 浩 次 山 田 弘 司	日本味と匂学会第 42 回大会 2008, 9
農協合併による米生産部会統合の意義と課題 —北海道・ふらの農協を事例として—	相 原 晴 伴	日本協同組合学会第 28 回大会 2008, 9
緊張亢進・緩和刺激の生理反応へ影響 —日常場面での測定—	山 田 弘 司	日本心理学会第 72 回大会 2008, 9
動物への応用 —イヌの問題行動治療への応用—	山 田 弘 司	日本心理学会第 72 回大会 2008, 9
体幹部の姿勢変化がペダリング時の筋活動およびトルク動態に及ぼす影響	高 嶋 涉 石 井 好 二 山 口 太 郎 高 石 鉄 一 石 鉄 雄	第 63 回日本体力医学会大会 2008, 9
川湯硫黄鉱山の歴史的史料とアトサヌブリ採掘跡	山 田 大 隆	産業考古学会全国大会 2008, 10
北海道における情報教育の共通基盤形成に向けた調査 2008	森 澤 夏 節 藤 澤 法 義 曾 我 聰 起 棚 橋 二 朗 et al	PC カンファレンス北海道 2008 2008, 11
循環型社会形成と BRG —スウェーデン・ヨーテボリの野心的プロジェクト—	中 原 准 一	北ヨーロッパ学会第 7 回研究大会 2008, 12

## 誌 上

- |   |  |  |
|---|--|--|
| デンマークのハーモニールールに学ぶ<br>—先進的な循環型社会の取り組み—   | 中 原 准 一  | C & G<br>2008, 4, (12) : 38-39   |
| CoenzymeQ10 摂取は若年健常者の最大運動負荷時糖<br>代謝を亢進させる   | 佐々木 将 太<br>山 口 船 太<br>真 寺 井 樹<br>et al                       | FOOD FUNCTION<br>2008, 11, 4 (2) : 53-49   |
| 休暇制度に一工夫を   | 松 本 懿  | HEERO REPORT<br>2008, 1, (73) : 1-2  |
| 循環型社会先進国・北欧に学ぶ<br>—一人びとにとって、「使い勝手のよい制度」とはなにか—   | 中 原 准 一  | HEERO REPORT<br>2008, 9, (82) : 3-4  |
| 捕鯨問題と水産庁の政策誘導の歴史  | 森 川 純  | JWCS 通信<br>2008, 8, 2 (54) : 6   |
| 系統農協による共同販売の課題  | 相 原 晴 伴  | NOSAI<br>2008, 1, (531) : 7-8  |
| 数値を詰める段階に入った WTO 農業交渉   | 相 原 晴 伴  | NOSAI<br>2008, 2, (532) : 9-10   |
| 食品価格高騰と国産農産物の見直し  | 相 原 晴 伴  | NOSAI<br>2008, 3, (533) : 9-10   |
| 北海道米, 販売好調だからこそ次の展開を  | 相 原 晴 伴  | NOSAI<br>2008, 4, (534) : 9-10   |
| 道民にわかりやすい有機農業の推進を   | 相 原 晴 伴  | NOSAI<br>2008, 5, (535) : 9-10   |
| バター不足から考える乳製品市場のあり方   | 相 原 晴 伴  | NOSAI<br>2008, 6, (536) : 9-10   |
| 道内産地による輸出拡大へのチャレンジ  | 相 原 晴 伴  | NOSAI<br>2008, 7, (537) : 9-10   |
| 急がれる米の新規需要開拓  | 相 原 晴 伴  | NOSAI<br>2008, 8, (538) : 9-10   |
| 食料自給率の向上に向けて地道な取組を  | 相 原 晴 伴  | NOSAI<br>2008, 9, (539) : 9-10   |
| 米生産部会部会活動の活発化   | 相 原 晴 伴  | NOSAI<br>2008, 10, (540) : 9-10  |
| 合併農協による販売対応と農家支援  | 相 原 晴 伴  | NOSAI<br>2008, 11, (541) : 9-10  |
| 多様に展開する北海道の地域農業   | 相 原 晴 伴  | NOSAI<br>2008, 12, (542) : 9-10  |
| The relaxation effect of odorant stimulus on the<br>deteriorated performance and brain function caused<br>by repetitive oddball task. | H. Yamada<br>N. Kaneki<br>K. Shimada<br>H. Kamimura<br>et al | Proceedings of The Second<br>International Conference on<br>Kansei Engineering & Af-<br>fective Systems<br>2008, 11, : 111-114 |
| Effect of pleasant and unpleasant odor on recovery<br>period after moderate exercise by respiratory<br>metabolism.                    | H. Yamada<br>N. Kaneki<br>K. Shimada<br>H. Kamimura<br>et al | Proceedings of The Second<br>International Conference on<br>Kansei Engineering & Af-<br>fective Systems<br>2008, 11, : 123-128 |

- 書評 W.J. McCormack, Blood Kindred: W.B. Yeats, the Life, the Death, the Politics (London: Pimlico, 2006) 藤田佳也 イェイツ研究 2008, 9, (39) : 83-85
- 北海道地場企業による地域資源活性化についての実証分析 森永文彦 彦夫 開発こうほう 2008, 6, (539) : 40
- 資源循環型畜産・酪農存続のためのバイオガスシステム導入の複合的評価分析 市川治 川地喜久 治司 森田信 茂 et al 平成18~20年度科学研究費補助金研究成果報告書(2年度目) 2008, 3, : 1-71
- 石狩市と札幌市の明治時代運河遺構について 山田大隆 北の技術文化 2008, 7, (19) : 62-66
- キャリア教育と連動した社会科教育の位置づけと実践の検討 一札幌市立旭丘高等学校の取り組みを事例として一 安宅仁人 公教育システム研究 2008, 2, (7) : 51-67
- ルーティランスコガネオサムシに関する文献知見 山崎亮一 甲虫ニュース 2008, 3, (162) : 24-28
- コンパクトシティ青森の視察研修から学ぶこと 加藤敏文 コンパクトシティ青森の視察研修報告書, 千歳商工会議所 2008, 6, : 1
- 中谷宇吉郎のニセコ山頂着氷実験と産業考古学 一零式艦載32型試作機翼発見保存経緯と戦史遺産研究一 山田大隆 産業考古学会第32回総会研究発表講演論文集 2008, 5, : 25-28
- 株式会社キメラ 一北海道で大きく飛躍一 森永文彦 産研論集 2008, 3, 35 : 81-94
- 北海道地場企業による地域資源活性化についての実証分析 森永文彦 彦夫 平成19年度助成研究論文集, 北海道開発協会開発調査総合研究所 2008, 6, : 155-170
- 地域経営の要諦 一岩手県藤沢町の実践に学ぶ一 松本 懿 せいさんせい 2008, 5, (202) : 3
- 日本酪農危機突破への提言 一海外依存高い現状を転換・目指せ永続循環型酪農一 荒木和秋 全酪新報 2008, 1, (2008) : 1
- 実技研修レポート 研修コース3「弥陀ヶ原→一の谷→室堂コース」 山口太一 大学体育 2008, 12, (91) : 54-57
- 酪農の未来を担う放牧 荒木和秋 畜産の情報(国内編) 2008, 2, (220) : 2-3
- 北海道・(旬)滝上町農業振興公社 荒木和秋 デーリイマン 2008, 1, 58(1) : 34
- 北海道で設置が進む農場制型TMRセンターの光と影 荒木和秋 デーリイマン 2008, 4, 58(4) : 18
- 放牧が注目されているが乳量・所得はどうか 荒木和秋 デーリイマン 2008, 6, 58(6) : 22-23
- 時評 WTO交渉で宿題背負った日本農業 中原准一 デーリイマン 2008, 11, 58(11) : 18
- 傍聴記: 第20回日本トレーニング科学学会大会に参加して 山口太一 トレーニング科学 2008, 3, 20(1) : 75-80
- 岡崎文吉と札幌明治期運河体系 山田大隆 日本科学史学会第55回総会年会研究発表講演要旨集 2008, 5, : 34

- |   |       |   |
|---|-------|---|
| 英国「子ども法 2004」の制定に見る子ども行政の一元化の理念と動向<br>—「社会投資国家」論の批判的検討を土台として— | 安宅 仁人 | 日本教育行政学会年報<br>2008, 10, (34) : 108-124                            |
| 北海道における産業遺産保存と世界遺産構想  | 山田 大隆 | 日本産業技術史学会第 24 回<br>年会講演概要集<br>2008, 6, : 18-21                    |
| 食の安全・安心（信頼）を提供するトレーサビリティシステム<br>—産地の偽装を防止する仕組みに関する研究と課題—      | 鈴木 忠敏 | 日本消費経済学会年報<br>2008, 3, (29) : 115-121                             |
| 日本における技術教育の危機   | 山田 大隆 | 日本理科教育学会北海道支部<br>会誌<br>2008, 3, (19) : 8-10                       |
| 卸売市場の「売れ残り」とごみ問題  | 杉村 泰彦 | ニューカントリー<br>2008, 5, 55(5) : 84-85                                |
| メリット措置で配分から選択へ  | 相原 晴伴 | ニューカントリー<br>2008, 9, 55(9) : 14-16                                |
| 国民の危機意識について   | 工藤 英一 | 農家の友<br>2008, 1, 60(1) : 22-23                                    |
| 品目横断的経営安定対策について   | 工藤 英一 | 農家の友<br>2008, 2, 60(2) : 20-21                                    |
| 農業政策の試行錯誤について   | 工藤 英一 | 農家の友<br>2008, 3, 60(3) : 20-21                                    |
| 北海道における農業改良普及活動について   | 工藤 英一 | 農家の友<br>2008, 4, 60(4) : 20-21                                    |
| 物価高騰について  | 工藤 英一 | 農家の友<br>2008, 5, 60(5) : 20-21                                    |
| 学生と共に地域活性化運動に参加して   | 工藤 英一 | 農家の友<br>2008, 6, 60(6) : 20-21                                    |
| WTO 農業交渉のゆくえ  | 工藤 英一 | 農家の友<br>2008, 7, 60(7) : 20-21                                    |
| 資材価格の高騰による農家への影響  | 工藤 英一 | 農家の友<br>2008, 8, 60(8) : 20-21                                    |
| あきらめず、そして柔軟な農業経営を！  | 工藤 英一 | 農家の友<br>2008, 9, 60(9) : 20-21                                    |
| 支庁再編について  | 工藤 英一 | 農家の友<br>2008, 10, 60(10) : 20-21                                  |
| 多様な農業について   | 工藤 英一 | 農家の友<br>2008, 11, 60(11) : 20-21                                  |
| お米を巡る政策問題について   | 工藤 英一 | 農家の友<br>2008, 12, 60(12) : 20-21                                  |
| WTO 農業交渉のゆくえ  | 相原 晴伴 | 農業共済新聞<br>2008, 8, (2765) : 11                                    |
| 農業を取り巻く 5 つの市場と農業市場学の体系構想プラン<br>—農業市場と農業政策—                   | 山崎 亮一 | 酪農学園大学酪農学部農業経済学科編,<br>2008 年度農業経済学概論 B<br>テキスト<br>2008, 4, : 9-10 |
| 入札価格は需給調整のシグナルたりえるか   | 相原 晴伴 | 農業と経済<br>2008, 6, 74(6) : 24-31                                   |

- G8を包囲したもう一つのサミット  
—若者たちの音楽は絶えない!— 藤井 創 福音と世界  
2008, 10, 63(10) : 40-45
- 水曜インタビュー  
—WTO交渉決裂と今後の北海道農業— 中原 准一 北海協同組合通信,  
2008, 9, (14600~14603) : 1-4
- 北海道の風土で育った酪農 荒木 和秋 北海道新聞 (夕刊一週刊フム  
フム)  
2008, 5, (23579) : 4
- 共同体における富の備蓄と再分配機能 山崎 亮一 北海道大学経済学研究  
2008, 12, 58(3) : 45-59
- 地域リーダーの育成 松本 懿 平成19年度北海道における  
人材育成に関する提言,  
北海道経済同友会  
2008, 6, : 23-25
- ガブリエル・マルセルにおける「誠実」と「固執」 小林 敬 酪農学園大学紀要  
2008, 4, 32(2) : 67-78
- The conditions for development of sustainable  
livestock production including dairy farming O. Ichikawa  
M. Nakamura 酪農学園大学紀要  
2008, 4, 32(2) : 79-87
- 酪農バイオガスシステム導入の経営経済的評価に関する  
一考察 中市川 稔治 酪農学園大学紀要  
2008, 4, 32(2) : 89-96
- 宮澤賢治の環境倫理「超平等主義」をめぐって  
—人間中心主義から生命中心主義へ— 岩井 洋 酪農学園大学紀要  
2008, 4, 32(2) : 107-120
- 食品流通における循環流通への取組実態と求められる  
課題 尾崎 亨照 酪農学園大学紀要  
2008, 4, 32(2) : 121-130
- 野菜流通における RTC (Round Trip Container)  
の利用を事例として— 尾三谷 光
- 全国農業協同組合連合会による米販売機能の展開 相原 晴伴 酪農学園大学紀要  
2008, 10, 33(1) : 119-126
- 飼料高騰時代における放牧酪農の再評価 荒木 和秋 酪農ジャーナル  
2008, 1, 61(1) : 62-64
- 飼料構造と酪農経営の損益分岐点分析 荒木 和秋 酪農ジャーナル  
2008, 2, 61(2) : 50-52
- オーストラリアの有機酪農を垣間見て 荒木 和秋 秋昭  
武藤 重信 洋  
森長 濱 幹  
et al 酪農ジャーナル  
2008, 3, 61(3) : 50-52
- 永続させるための酪農経営の課題 荒木 和秋 酪農ジャーナル  
2008, 3, 61(3) : 54-56
- 酪農支援システムは家族経営を発展させるか 荒木 和秋 酪農ジャーナル  
2008, 9, 61(9) : 12-14
- 最近の生乳生産と飲用乳需要から見えるもの 中原 准一 酪農ジャーナル  
2008, 10, 61(10) : 12-14
- 海の産業遺産めぐり 11  
—上ノ国町の石崎漁港トンネル航路— 山田 大隆 ラメール  
2008, 1, 33(1) : 73-75
- 海の産業遺産めぐり 15  
—積丹半島と西海岸の袋間遺構群— 山田 大隆 ラメール  
2008, 9, 33(5) : 73-75
- 北海道米の生産販売対応の展開と農協生産部会の機能 相原 晴伴 流通多チャンネル化に対応した  
産地・生産部会の動向,  
北海道地域農業研究所  
2008, 3, : 61-94

著 書

- |  |   |   |
|--|---|---|
| 家族酪農の経営改善<br>—根室酪農専業地帯における実践から—        | 吉野 宣彦   | 日本経済評論社<br>2008, 8  |
| 米                                      | 相原 晴伴   | 日本農業市場学会編, 食料・<br>農産物の流通と市場Ⅱ,<br>筑波書房<br>2008, 4, 59-73           |
| 日本酪農における自給飼料生産の新たな試み                   | 荒木 和秋   | 名久井 忠監修,<br>飼料自給・最前線,<br>酪農学園大学エクステンシ<br>ョンセンター<br>2008, 3, 25-32 |
| 酪農経営の収益性と繁殖成績の関係からみた改善対策               | 吉野 宣彦   | 生産獣医療における乳牛の繁<br>殖管理マニュアル,<br>全国家畜畜産物衛生指導協会<br>2008, 3, 112-119   |
| 釧路コールマインの技術とその産業技術史的価値と発<br>展展望        | 山田 大隆   | 炭鉱離職者の健康Ⅱ,<br>炭鉱労働調査研究会<br>2008, 9, 3-16                          |
| 中国語でトライリンガルにチャレンジ<br>—酪農学園大学編—         | 趙野 萌<br>尾野 麻紀子                                | 酪農学園大学エクステンシ<br>ョンセンター<br>2008, 3                                 |
| 土地利用型農業の再構築と北海道農業<br>—米系統共販の変質と産地再編—   | 相原 晴伴   | 農業問題研究学会編,<br>土地の所有と利用,<br>筑波書房<br>2008, 11, 72-79                |
| 20世紀から現代へ<br>—ある編集長からみた「レダと白鳥」—        | 藤田 佳也   | 長尾輝彦編著,<br>文学研究は何のため,<br>北海道大学出版会<br>2008, 3, 261-273             |
| 北辺の野に祈る<br>—北海道開拓とキリスト者たち—             | 仙北 富志和  | ストーク<br>2008, 7   |
| 日農機製工<br>—北海道の大規模農業を支える農業機械メーカー—       | 本田 康夫   | 佐藤郁夫, 森永文彦, 小川正<br>博編著, 北海道の企業2,<br>北海道大学出版会<br>2008, 6, 123-143  |
| キメラ<br>—北海道へ進出して大きく飛躍した金型部品加工メー<br>カー— | 森 永 文彦  | 佐藤郁夫, 森永文彦, 小川正<br>博編著, 北海道の企業2,<br>北海道大学出版会<br>2008, 6, 171-193  |
| 野生生物保全事典<br>—野生生物保全の基礎理論と項目—           | 小 原 秀 雄<br>浦 本 昌 紀<br>本 谷 勲<br>森 川 純<br>et al | 野生生物保全論研究会編,<br>緑風出版<br>2008, 12, 159-162                         |
| 地域労働市場論の展開過程                           | 山崎 亮一   | 農業問題研究学会編,<br>労働市場と農業,<br>筑波書房<br>2008, 11, 1-24                  |